

昭和38年度下半期

千代田区財政の 現状について

千代田区告示第 19 号

東京都千代田区財政事情の作成および公表に関する条例（昭和23年千代田区条例第30号）に基づいて、本区の財政事情を次のとおり公表します。

昭和39年 5月 1日

千代田区長 遠山 景光

1. 昭和38年度予算のあらまし

〔一般会計〕

当初予算で財源の許す限り建設的投資経費の充実を中心として、全般的に必要なかつ効率的な年間予算を編成し、その後新しい事務事業の執行に要する経費の追加を行なった結果、前期末の予算総額は1,404,581,478円となったことは、前回公表のとおりです。

更に下半期においても新規事業として、区道改良補修、防犯街路灯の改修、材料置場の用地買収、今川中学校屋内体育館建設の初年度経費、保田臨海学園の建設、用地買収の完了した麹町保育園の新園舎建設をはじめとして、老朽化した中・小学校校舎および設備の造改修経費、中学校給食実施のための施設備品の整備など、各施設の整備充実に要する経費を追加計上したほか、河川に浮遊するごみの清掃経費、路面洗じょう車購入費、首都美化推進に要する経費など、都心区としての環境美化促進経費とともにみこし展、音楽パレードなどの観光事業経費、衆議院議員選挙執行費、災害対策に要する経費、区民厚生施設建設資金積立金の追加設定経費など、前後6回の追加更正を行ない、純計461,897,899円を増額し

ました。この結果今期末昭和38年度最終予算額は、1,866,479,377円となりました。

これに昭和37年度予算のうち事業進捗の都合などにより昭和38年度への繰越使用分159,169,206円を加えると予算総額は2,025,648,583円になります。

〔特別会計（国民健康保険事業会計）〕

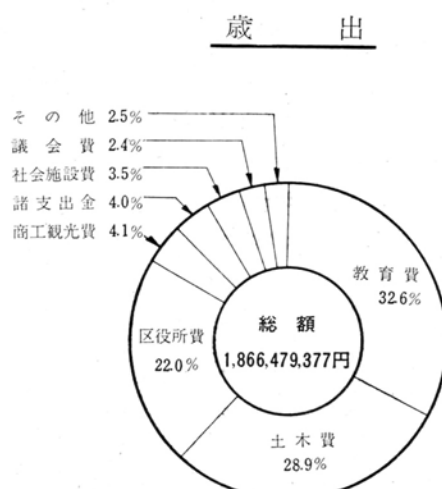
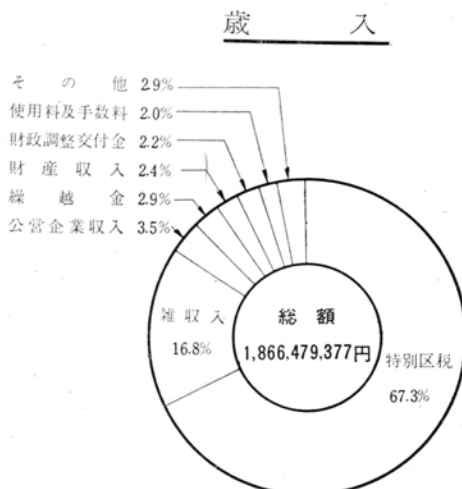
当初予算で被保険者に対する療養給付、助産葬祭、健康相談など年間必要経費を計上し、その後人件費の不足額などを追加計上した結果、前期末の予算総額は126,112,184円となったことは前回公表のとおりです。

更に下半期においては、保険給付費および職員の期末手当の不足分などの追加更正を行ない純計5,357,795円の増額となり、今期末昭和38年度最終予算額は131,469,979円となりました。

〔特別会計（用品会計）〕

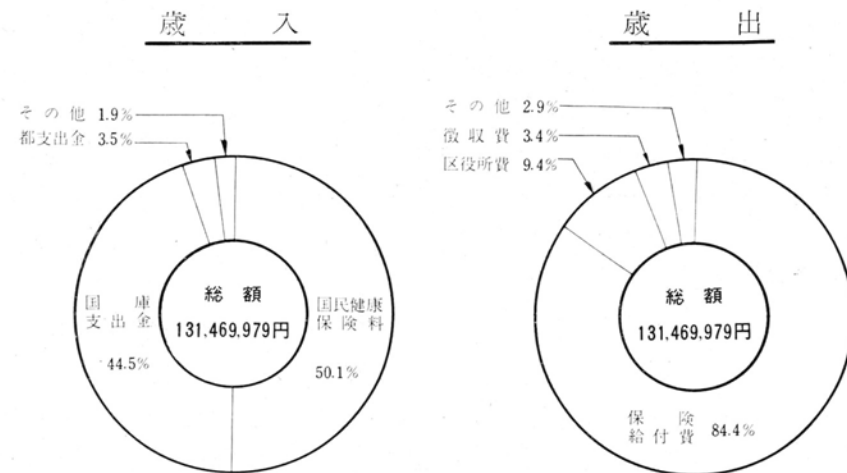
事務能率の向上と行政経費の節減を目的とした用品配給事業の今期末昭和38年度最終予算額は当初予算額と同額で9,500,000円です。

一 般 会 計



千代田区財政の現状について

特別会計（国民健康保険事業会計）



2. 昭和38年度予算の執行状況

昭和39年3月末現在の収支の状況は次のとおりですが、5月末日の出納閉鎖期までには、相当額の収入支出が追加される見込です。

〔一般会計〕

収入の状況

科 目	予算現額	繰越使用分	計	収入済額	収入未済額	収入割合
特別区税	1,255,500,000	0	1,255,500,000	1,196,210,635	59,289,365	95.3
公営企業収入	65,000,000	0	65,000,000	67,000,000	△ 2,000,000	103.1
財産収入	44,511,444	0	44,511,444	44,596,498	△ 85,054	100.2
財政調整交付金	42,003,000	0	42,003,000	42,003,000	0	100.0
使用料及手数料	36,467,725	0	36,467,725	46,556,959	△ 10,089,234	127.7
国庫支出金	2,654,474	0	2,654,474	1,495,806	1,158,668	56.4
都支出金	33,568,298	0	33,568,298	20,601,960	12,966,338	61.4
寄附金	17,540,000	0	17,540,000	17,584,225	△ 44,225	100.3
繰入金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	0.0
繰越金	54,729,538	159,169,206	213,898,744	213,898,744	0	100.0
雑収入	313,504,898	0	313,504,898	240,747,185	72,757,713	76.8
計	1,866,479,377	159,169,206	2,025,648,583	1,890,695,012	134,953,571	93.3

千代田区財政の現状について

支出の状況

科 目	予算現額	繰越使用分	計	支出済額	予算残額	支出割合
議会費	45,257,944	0	45,257,944	43,158,376	2,099,568	95.4
区役所費	411,602,662	155,800	411,758,462	391,162,679	20,595,783	95.0
土木費	539,099,513	23,343,161	562,442,674	410,018,168	152,424,506	72.9
教育費	607,843,811	106,447,565	714,291,376	530,408,500	183,882,876	74.3
社会施設費	64,964,513	26,020,000	90,984,513	61,877,837	29,106,676	68.0
選挙費	8,753,734	0	8,753,734	7,392,748	1,360,986	84.4
監査委員費	1,066,150	0	1,066,150	996,653	69,497	93.5
商工観光費	76,290,089	0	76,290,089	71,085,351	5,204,738	93.2
徴税費	14,870,226	0	14,870,226	12,636,957	2,233,269	85.0
公会堂費	5,330,438	0	5,330,438	4,986,551	343,887	93.5
建築費	12,288,111	3,202,680	15,490,791	12,181,681	3,309,110	78.6
諸支出金	74,419,861	0	74,419,861	31,671,651	42,748,210	42.6
予備費	4,692,325	0	4,692,325	0	4,692,325	0.0
計	1,866,479,377	159,169,206	2,025,648,583	1,577,577,152	448,071,431	77.9

〔特別会計（国民健康保険事業会計）〕

収入の状況

科 目	予算現額	収入済額	収入未済額	収入割合
国民健康保険料	65,830,630円	61,817,261円	4,013,369円	93.9%
使用料及手数料	2,600	3,350	△ 750	128.8
国庫支出金	58,591,666	54,502,563	4,089,103	93.0
都支出金	4,561,173	4,986,000	△ 424,827	109.3
繰越金	2,260,259	4,699,996	△ 2,439,737	207.9
雑収入	223,651	400,456	△ 176,805	179.0
歳入合計	131,469,979	126,409,626	5,060,353	96.2

支出の状況

科 目	予算現額	支出済額	予算残額	支出割合
区役所費	12,297,239円	11,475,077円	822,162円	93.3%
保険給付費	110,952,777	89,905,391	21,047,386	81.0
保健施設費	334,830	219,548	115,282	65.6
徴収費	4,438,091	4,210,524	227,567	94.9
諸支出金	1,397,292	1,097,983	299,309	78.0
予算費	2,049,750	0	2,049,750	0.0
歳出合計	131,469,979	106,908,523	24,561,456	81.3

千代田区財政の現状について

〔特別会計（用品会計）〕

収 入 の 状 況

科 目	予 算 現 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 割 合
用 品 収 入	8,500,000 ^円	7,388,776 ^円	1,111,224 ^円	86.9 [%]
繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0	100.0
歳 入 合 計	9,500,000	8,388,776	1,111,224	88.3

支 出 の 状 況

科 目	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 割 合
用 品 費	8,000,000 ^円	7,677,994 ^円	322,006 ^円	96.0 [%]
繰 出 金	1,000,000	0	1,000,000	0.0
予 備 費	500,000	0	500,000	0.0
歳 出 合 計	9,500,000	7,677,994	1,822,006	80.8

一般会計資金収支の状況

月 別	収 入 額	支 出 額	差 引 残 額	翌 月 繰 越 額
4 月	123,904,444 ^円	96,616,139 ^円	27,288,305 ^円	27,288,305 ^円
5 "	144,344,481	100,521,469	43,823,012	71,111,317
6 "	65,455,400	131,915,191	△ 66,459,791	4,651,526
7 "	237,893,585	145,415,654	92,477,931	97,129,457
8 "	110,081,477	114,966,553	△ 4,885,066	92,244,381
9 "	202,221,052	92,377,408	109,843,644	202,088,025
上半期分小計	883,900,439	681,812,414	202,088,025	
10 月	166,954,462	118,514,630	48,439,832	250,527,857
11 "	205,412,092	139,575,428	65,836,664	316,364,521
12 "	122,452,635	291,634,456	△ 169,181,821	147,182,700
1 "	104,325,375	79,134,148	25,191,227	172,373,927
2 "	207,000,372	128,194,797	78,805,575	251,179,502
3 "	200,649,637	138,711,279	61,938,358	313,117,860
下半期分小計	1,006,794,573	895,764,738	111,029,835	
3 月 末 日 現 在 計	1,890,695,012	1,577,577,152	313,117,860	

なお、4月および5月の収入額268,248,925円は、前年度よりの繰越金213,898,744円（うち159,169,206円は繰越使用分）が含まれています。

また、昭和38年度の資金収支は出納閉鎖期の5月末日まで続き、その結果により翌年度に繰越金として繰越されます。

千代田区財政の現状について

都執行委任予算

都の事務事業執行のため委任された予算の執行状況を参考までにお知らせします。

〔一般会計〕

(39.3.31 現在)

科 目	予 算 額	支 出 済 額	残 額	支 出 割 合
都 庁 費	10,064,644 ^円	9,896,154 ^円	168,490 ^円	98.3 [%]
消 防 費	1,389,550	890,595	498,955	64.1
教 育 費	408,914,509	407,483,961	1,430,548	99.6
土 木 費	128,603,172	111,780,532	16,822,640	86.9
建 築 事 業 費	19,600	4,900	14,700	25.0
民 生 事 業 費	212,870	77,249	135,621	36.3
労 働 費	22,520,958	20,950,386	1,570,572	93.0
保 健 衛 生 費	79,750	78,986	764	99.0
清 掃 事 業 費	2,212,370	1,490,444	721,926	67.4
農 林 費	1,000	933	67	93.3
統 計 費	686,580	686,580	0	100.0
諸 支 出 金	159,600	25,661	133,939	16.1
合 計	574,864,603	553,366,381	21,498,222	96.2

〔特別会計（中央卸売市場会計）〕

(39.3.31 現在)

科 目	予 算 額	支 出 済 額	残 額	支 出 割 合
価 格 安 定 対 策 費	133,625 ^円	103,364 ^円	30,261 ^円	77.4 [%]
合 計	133,625	103,364	30,261	77.4

3. 区税負担の状況

区 分	世 帯 負 担		人 口 負 担	
	世 帯 数	1 世 帯 当 り	人 口	1 人 当 り
昭和38年度特別区税 (A)	26,410 ^{世帯}	48,679 ^円	109,780 ^人	11,711 ^円
昭和37年度特別区税 (B)	26,773	36,488	113,816	8,583
A/B	98.6%	133.4%	96.5%	136.4%

(注) 人口および世帯数については、昭和39、38年3月末日現在配給台帳による。

千代田区財政の現状について

昭和38年度特別区税収入状況

(39.3.31現在)

税目	区分	調定額		収入済額		未収入額		収入歩合
		税額	件数	税額	件数	税額	件数	
現年度分	特別区民税	1,267,512,550	159,887	1,170,466,889	143,040	97,045,661	16,847	92.3
	特別区軽自動車税	6,960,000	8,011	6,602,900	7,666	357,100	345	94.9
	犬税	610,200	1,813	544,500	1,619	65,700	194	89.2
	計	1,275,082,750	169,711	1,177,614,289	152,325	97,468,461	17,386	92.4
過年度分計		10,530,870	469	6,744,995	327	3,785,875	142	64.0
滞納繰越分計		40,353,901	19,007	11,604,890	2,139	28,749,011	16,868	28.8
合 計		1,325,967,521	189,187	1,195,964,174	154,791	130,003,347	34,396	90.2

4. 区有財産の現在高

昭和39年3月末日現在の区有財産の現在高は次のとおりです。

種 別	数 量	価 格	摘 要
土 地	172,656m ²	2,755,929,227	庁舎、小中学校、公園などの敷地
建 物	112,870m ²	1,812,540,229	庁舎、小中学校校舎など
工 作 物	438点	76,655,374	街路灯、児童遊園施設など
権 利	78件	2,757,100	電話加入権、温泉受給権
株券有価証券等	440口	166,229,756	株券、債券など
動 産	293,660点	204,364,762	各種備品など
合 計		5,018,476,448	

5. 一時借入金

昭和38年度下半期における一時借入金は、収入支出の均衡が保たれたためありませんでした。

6. 昭和39年度当初予算の概要

昭和39年度の当初予算は、前年に引き続き健全財政を堅持するとともに、本区の特長性に立脚した区民生活の向上と福祉の増進を基本として、社会・経済情勢の適確な把握と、区民各層よりの要望などを考慮し、“住みよい区政”の促進を本区の最大の目標として、財源の許す限り区政全般にわたって、事務事業の充実に要する年間経費を計上しました。

また、昭和39年度は先般地方財務会計制度の近代化、

合理化の推進を趣旨とした地方自治法の一部改正があったため、予算制度にも大きな変革がありました。その主な点は、従来の歳入歳出予算の外に継続費、繰越明許費、債務負担行為、一時借入金、歳出予算の各項の経費の金額の流用などが歳入歳出予算に直接関連するもの、あるいは将来必ず財政負担を伴い実質的に予算となるものとして新しく予算の内容に加わりました。更に歳入歳出予算の款項の区分についても歳入予算の款は性質別に、歳

千代田区財政の現状について

出予算の款項は目的別に区分することが明示されたため、従来一括して計上していた人件費などをそれぞれ目的別に計上する外、歳入歳出予算の金額の最少単位を千円とすることなどがあります。

なお、この改正により新しく基金制度が明定されたため、従来特別会計を設けて運用していた用品配給事業については、本年度より特別会計を廃止し、一般会計からの繰出金をもって運用資金とする用品基金を設けました。

(一般会計)

区の財政の基本となる特別区税については、その伸長度が不明であり、また都区財政調整の方針が未定のため、前年度の実績を考慮し、今後の動向に対処できる額に止め、その他の収入については客観情勢の推移と前年度の実績を十分検討のうえ、それぞれ慎重に算定して歳入予算に計上しました。

次に歳出予算については全般にわたり消費的経費の膨張の抑制と、都心区としての各施設の整備を基調に、地方自治法改正の趣旨に即応し、各事務事業の再検討とその経費の分析により合理化を図り、住みよい千代田区づくりの推進を目標に最少の経費で最大の効果を期待した歳出予算を編成し計上しました。新規経費としては区道の改良補修、防犯街路灯の改修、緑地帯の美化整備、道路清掃のための洗じよう車の増車、区内河川の清掃、老朽化した小・中学校校舎設備の造改修、麴町小学校特別教室の増築、今川中学校屋内体育館建設の第2年度経費など土木、教育施設の整備経費をはじめとして、学校教育内容向上のための各教科の教材教具の充実、各校外施設の備品整備経費とともに校外施設の効率的利用を

図るためスクールバスの増車経費のほか、千代田まつり経費の増額、観光案内板、歓迎塔の作成、みこし展示会などオリンピック関連の商工観光事業の充実経費、商工融資資金の増額、第2回区民体育大会開催経費、新生活運動促進経費などを計上しました。

その結果昭和39年度歳入歳出予算の総額はそれぞれ1,404,871千円となり、前年度と比較して200,068千円の増額となったのであります。

また本年度より新しく予算の内容となった一時借入金の最高限度額については、100,000千円、歳出予算の流用については人件費に不足を生じた場合のみ、同一款内の各項の経費の金額の流用を定めました。

なお、昭和38年度予算のうち事業進捗の都合により本年度へ143,034,012円を予算繰越をしました。

以上が昭和39年度一般会計の当初予算の概要であります。今後都区財政調整の確定のうえは新規事業を中心とした補正予算を編成する予定です。

(特別会計)

国民健康保険事業会計の当初予算は、前年度の実績を十分検討のうえ、都の方針にそい4月1日現在の保険加入世帯および被保険者の推定数を基礎に算出し計上しました。

その結果昭和39年度歳入歳出予算の総額はそれぞれ138,089千円となり、前年度と比較して12,466千円の増加となりました。

また歳出予算の流用については、一般会計と同様人件費についてのみ不足する金額の流用について定めました。

〔一般会計〕

科 目	本年度予算額		前年度予算額(概算)		増(△)減
	金 額	百分比	金 額	百分比	
特別区税	1,060,018千円	70.9%	895,000千円	69.1%	165,018千円
特別区財政交付金	42,000	2.8	45,000	3.5	△ 3,000
使用料及び手数料	34,597	2.3	35,088	2.7	△ 491
国庫支出金	2,752	0.2	2,656	0.2	96
都支出金	27,357	1.8	39,744	3.1	△ 12,387
財産収入	15,449	1.0	2,360	0.2	13,089
寄附金	1,290	0.1	1,290	0.1	0
繰越金	15,910	1.1	309	0.0	15,601
諸収入	295,498	19.8	272,356	21.0	23,142
(繰入金)	0	0.0	1,000	0.1	△ 1,000
歳入合計	1,494,871	100.0	1,294,803	100.0	200,068

千代田区財政の現状について

歳 出

科 目	本 年 度 予 算 額		前 年 度 予 算 額 (概算)		増 (△) 減
	金 額	百分比	金 額	百分比	
議 会 費	50,870千円	3.4%	49,924千円	3.9%	946千円
総 務 費	337,698	22.6	293,867	22.7	43,831
民 生 費	82,946	5.6	72,439	5.6	10,507
産 業 経 済 費	99,175	6.6	82,100	6.3	17,075
土 木 費	433,466	29.0	373,164	28.8	60,302
教 育 費	478,746	32.0	416,369	32.2	62,377
諸 支 出 金	1,970	0.1	1,940	0.1	30
予 備 費	10,000	0.7	5,000	0.4	5,000
歳 出 合 計	1,494,871	100.0	1,294,803	100.0	200,068

〔特 別 会 計 (国民健康保険事業会計)〕

歳 入

科 目	本 年 度 予 算 額		前 年 度 予 算 額 (概算)		増 (△) 減
	金 額	百分比	金 額	百分比	
国 民 健 康 保 險 料	80,396千円	58.2	71,048千円	56.6%	9,348千円
一 部 負 担 金	20	0.0	20	0.0	0
使 用 料 及 び 手 数 料	1	0.0	40	0.0	△ 39
国 庫 支 出 金	52,520	38.0	49,313	39.2	3,207
都 支 出 金	4,261	3.1	4,167	3.3	94
繰 越 金	665	0.5	831	0.7	△ 166
諸 収 入	226	0.2	204	0.2	22
歳 入 合 計	138,089	100.0	125,623	100.0	12,466

歳 出

科 目	本 年 度 予 算 額		前 年 度 予 算 額 (概算)		増 (△) 減
	金 額	百分比	金 額	百分比	
総 務 費	18,926千円	13.7%	17,114千円	13.6%	1,812千円
保 險 給 付 費	116,333	84.3	105,926	84.3	10,407
保 健 施 設 費	326	0.2	335	0.3	△ 9
諸 支 出 金	235	0.2	184	0.2	51
予 備 費	2,269	1.6	2,064	1.6	205
歳 出 合 計	138,089	100.0	125,623	100.0	12,466

(注) 一般会計、特別会計とも前年度の予算額は法律改正に伴い款の区分の変更などにより、推定により概算額を記入してあります。

7. む す び

区の財政事情については毎年2回にわけて公表していますが、今回は昭和38年度下半期の予算のあらましと、区民負担の概況、区有財産などの現況とともに、あわせ

て昭和39年度当初予算の概要をお知らせしましたが、今後も区民の皆様のより一層のご理解とご協力のもとに、更に区財政の効率的な運用に全力をつくし、明るい千代田区政の発展に努力してまいります。